

鳥取大学にご家族がご献体された皆様へ

「高齢者における食道裂孔ヘルニアの発症原因に関する解剖学的検討」 について

はじめに

鳥取大学医学部解剖学講座では、2019年4月1日から2024年3月31日までの鳥取大学医学部の教育である解剖学実習等のためにご献体いただいた方を対象に、実習前のコンピュータ断層撮影（CT）と解剖学実習等における剖出、死亡診断書から得られる情報をもとに研究を実施しています。

この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。当講座で取り組んでいる研究については以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、2019年4月1日から2024年3月31日までの期間に、鳥取大学医学部の医学教育である解剖学実習において、食道裂孔ヘルニアの有無を確認し、実習前に撮影したCT画像から胸椎の後弯角度（Cobb角）、胸郭の形状に関する指標（Haller index）や死亡診断書に記載されている情報を集めさせていただき、「食道裂孔ヘルニアの発生と胸椎後弯の関係」を調査します。さらに、食道裂孔ヘルニアの発生に「性」、「年齢」、「胸郭の形状の特徴」などが影響するかについても調査を予定しています。

CT撮影は、鳥取大学医学部社会医学講座法医学分野の機器を利用して行い、CT画像を含めてすべての情報は、鳥取大学医学部解剖学講座で集計・管理されます。なお、測定された情報は、研究責任者が責任を持って保管・管理します。

本研究に参加いただく故人のご家族は、他の研究参加者（ご家族）への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される場合は、遠慮なく「11.問い合わせ窓口」にお申し出ください。

2. 取り扱う情報（測定項目）

以下の項目を集めさせていただきます。

【ご献体の情報】

性別、死亡時の年齢、死因、手術の有無、食道裂孔ヘルニアの有無、胸椎の後弯角度（Cobb

角)、胸郭の形状に関する指標 (Haller index)、食道及び胃の形状、横隔膜の形状を含めた胸腹部の解剖所見。

3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から2025年3月31日まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

ご献体の情報は、研究責任者が責任をもって保管・管理します。また、氏名、イニシャル、住所、電話番号など直ちに個人を識別できる情報（個人情報）は匿名化*され、本研究では匿名化された情報を使用します。また、本研究でご提供いただいた情報は、本研究目的以外で使用されることはありません。このようにして、ご献体の個人情報の管理については十分に注意を払います。

*匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、ご献体くださった方の氏名、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどのご献体のものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報とご献体を結びつけることのできる対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

利益・・・今回の研究に情報をご提供いただいたご献体およびその家族には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は、将来の食道裂孔ヘルニアの予防や診断の進歩に有益となる可能性があります。なお、情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

不利益・・・死後の解剖及びCT、死亡診断書からの情報収集のみであるため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただくご献体の情報が医学の発展に伴い、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、ご献体の情報は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画を立案し、研究に参画する機関の倫理審査委員会での審査を経たうえで他の研究に使用させていただきます。

収集した情報は、本研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保存します。保存期間終了後は、ご献体された個人を特定できない状態にして、適切に

廃棄します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

ご献体の情報を研究に用いられたくない、またはYMCA 米子医療福祉専門学校への情報の提供を停止したい場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めを希望された場合でも、何ら不利益を受けることはありませんので、「11.問い合わせ窓口」にお申し出ください。

取り止めの希望を受けた場合、ご献体の情報を使用することはありません。この場合には、ご献体された個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。

しかし、取り止めを希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

8. 当該研究に係る資金源について

本研究は、鳥取大学から医学部解剖学講座に配分される研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、ご献体された個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者にご献体された方の個人情報明らかになることはありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

11. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、ご献体の情報が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、ご献体の情報の使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の研究責任者にお問い合わせ下さい。

【研究責任者】

海藤 俊行 鳥取大学医学部解剖学講座 教授

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

TEL：0859-38-6011 / FAX：0859-38-6010

*この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載していません。

URL：<https://www2.hosp.med.tottori->

u.ac.jp/departments/center/amirt/2115/3186/3294/

12. 研究実施機関および研究責任者

鳥取大学医学部解剖学講座	教授	海藤	俊行
YMCA 米子医療福祉専門学校	教諭	高梨	悠一